

野生女を発見！

小便観察！自慰観察！

連れ帰って淫乱娘に調教！



★CG枚数／9枚

★ページ／50枚

野良犬に育てられた巨乳少女を保護して
淫乱娘にして社会復帰

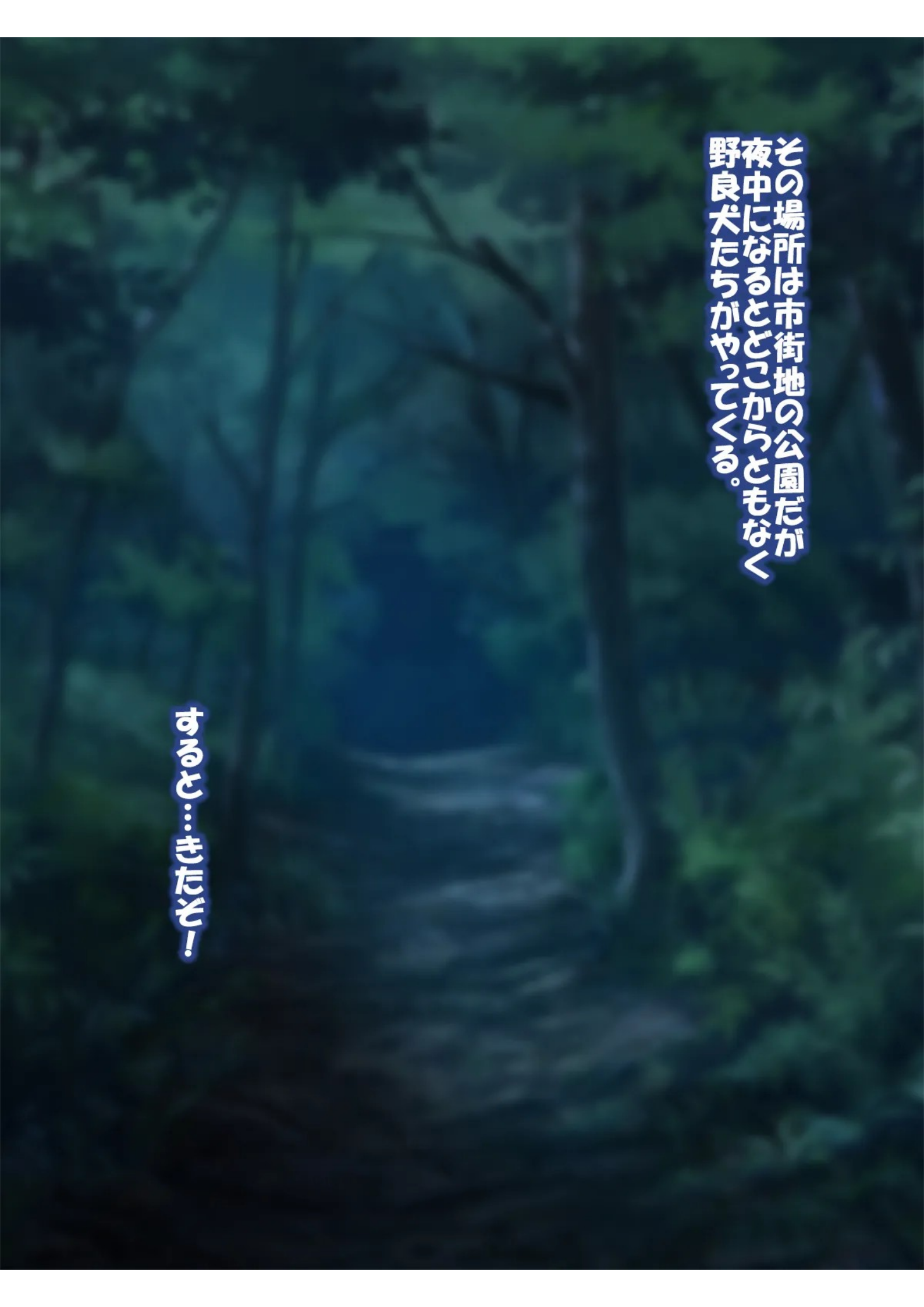
俺は町田光一。
動物愛護団体のNPOをやっている。

最近、日本各地で野良犬が増えている。
それを保護したりするのが役目だが
今回、興味深いネタが入った。

A misty forest path with a bright light in the distance. The path is made of dirt and is surrounded by tall trees with green foliage. The light in the distance creates a strong glow, illuminating the path and the surrounding trees. The overall atmosphere is mysterious and ethereal.

野良犬の中に、人間がいるという。
しかも、若い女だというのだ。

まずは人間から保護しなきゃいけないだろう。
早速俺は現場に飛んだ。



その場所は市街地の公園だが
夜中になるとどこからともなく
野良犬たちがやってくる。

すると…きたぞ！

野良犬に育てられてる少女が現れた。

ポランティアが置いてった犬のえさを、
他の野良犬と混じって食っている。
なんとも信じがたい光景だ。



俺はしばし、
この野良犬少女を
観察することにした。

さあ…何かを始めたぞ。



おおお
これは……！

「ああ……」



小便しているわ。

「ああ…ん♡」





「あーん♡」

まるで犬そのものだ。

すげー！

野良犬に育てられると
放尿も犬みたいにするのか。



次は…な…なんだ？

「あああ…ん♡」



おまんこを
こすりつけてるぞ。

「ああ…
わおー♡」



これは発情期か？

「わー！
いぐう♡」



おお？
いったか？

「はあ…はあ
…はあ…」



このままじゃ、
他の雄犬に交尾されるな。
まずいな。

「ああ……ん、きゅ……」



よし、この少女を保護だ。

「ぐーぐー！おやじー！なにやる」



おやなつくー！

「我は人間が嫌いだ！」

くるわー！



自宅に連れてきたが、
さすがに臭い。
風呂に入れよう。

抵抗する野良犬少女を
なんとか車に押し込んで
家まで連れて帰った。



女は抵抗して噛まれたが
無理やり洗った。

「やめろー！なにをしろー！」



まんこのあたりも
念入りに洗うと感じてきた。

「あああ……ん……♡」





「わ…ん…♡」

急に大人しくなった。

可愛いところもある。

「ああ…
いきなり♡」



「ああ！
いぐっ♡」

まんこの中まで
指を突っ込んで洗った。



風呂に入れて綺麗になったら
見違えるほど可愛くなった。

そして、
俺にもなついてきた。



「くぅ…ん、もっと
いろんなことを教えて」

発情期のせいかわかに艶めかしい。
といあえずフェラを教えよう。



「ぐっ……ん」

噛むなよ、
舐めるんだぞ。



ちゅーすまにゅ。

「んん...」



「いいいいいい
うん」

いいこだ、
もつと舐めるんだ。



うう！
いぐう！

「うん……ご主人様」

「ぐんぐん」

女は俺の精子を舐めきった。



「もっと教えて、
ご主人様」

じゃあ、
ワンインストールで
挿入だ。



「ああ…いい」

いいまんこだな。



ちよつと
締りだ。

「ああ…
なにこれ…」



「感じる...
いっちゃうよ♡」

俺も出るよ。



出た！

「いっ♡」



この女はなかなかやいまんの素質を持っている。
社会復帰も早いかもしれない。
名前は何にしよう。凜にしようか。

「私は凜なのね」



凧を連れ出して町の中に出てみた。
俺は陰から見ていると
早速、凧がナンパされている。

人懐っこい凧は
そのままついて行った。



そしてその男に
家について行った。

君可愛いね。

「うれしい」



エッチしてもいい？

「はい」



やったー！
入れるよ。

「むっ」



「ああ…ご主人様
…いいです♥」

うひょー、最高…
気持ちいい。



可愛いし、
エッチもいいし
いう事なし。

「そっういってくれて
うれしい♡」



「ちゅっ♡」

ちゅっ♡。



「おっ、っ♡」

あぁ！
中だし！



「首輪ですか」

ねえ、君。
これつけてちょうだい。



「わ……ん……」

おお……いいねえ
興奮してきた。



「ああ…
すごいいい…♡」

可愛い！挿入だ。



「きちゃん…
きちゃん…♡」

気持ちいいなあ。



「ご主人様
気持ちいい…♡」

首輪セックス興奮する。



ああ！出るー！

「おっぴー♡」



凜はその男の家に、
居つくようになった。

新しい飼い主に拾われて
保護されて、よかった。

これで幸せになるんだよ。

